



ごあいさつ

国土交通省 水管理・国土保全局長 藤巻 浩之

本日、鳥海ダム本体工事の着工式を迎えることができたのは、弘法大師伝説や、秋田県で最初の天然記念物に指定された法体の滝など、長い歴史と豊かな文化を育んでいる百宅地区の住民の方々の理解があったからと考えております。先祖伝来の貴重な土地をご提供いただいたり、ダンプや重機が多く通る工事にご理解をいただいた地権者の方々、地元の方々に感謝を申し上げます。

また、秋田県と秋田県議会、由利本荘市、にかほ市当局と議員の皆さま、国会議員の皆さまには大変お世話になっております。さらに申し上げますと、この事業推進に関してひとかたならぬお世話をいただいた前秋田県知事の佐竹敬久さまにもお越しいただいております。

こういったさまざまな方のご理解ご協力を一身に受け、本体工事や付け替え道路、いろいろな工事に関する調査・設計に取り組んでいただいております調査会社、施工会社の方々にも感謝申し上げます。

昨今、気候変動が指摘されて久しい中、昨年7月には、誠に申し訳ないことですが、当地で大雨が降り、下流でかなりの面積が浸水しました。私どもとしては、秋田県や市とともに再発防止の対策を行っていきますが、これをさらに確実にするため鳥海ダム建設をしっかり進めていきたいと考えております。

さらに、気候変動の影響は洪水だけに及ばず、雨が降らない場合は深刻な渇水が生じます。当地におきましては、数年に1回、用水の取水制限が行われたり、水が取りづらいといったこともあります。

カーボンニュートラルを目指すためには再生エネルギーや水力発電が重要であり、われわれも資源エネルギー庁と一緒に取り組んでいるところですが、鳥海ダムは、洪水調節や用水の補給、発電を行う多目的ダムです。地域の安全安心を向上し、地域の活性化に少しでもお手伝いができるように、精いっぱい努力をいたします。

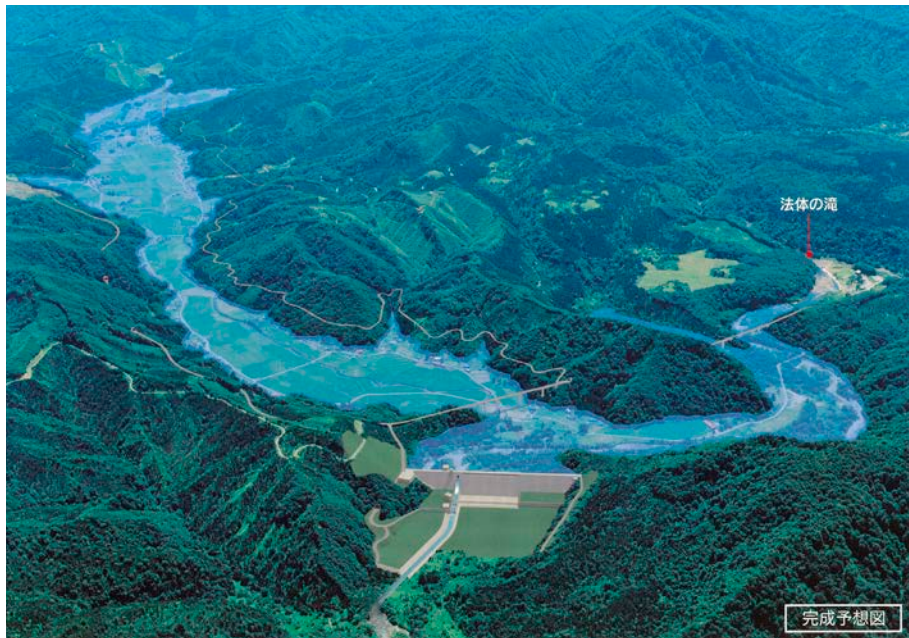
今後、一日も早い鳥海ダムの完成に向け、東北地方整備局、国土交通省が丸となって取り組んでまいります。それには引き続き、皆さまのご理解とご協力が何よりも重要です。旗振り役として一生懸命、皆さまと連携を取って取り組んでまいりますので、今後ともご協力、ご理解をお願いいたします。

この百宅をはじめとして、地域がますます元気になること、皆さまが明るい未来を描けるような地域にしていくことを、治水行政やダム行政を通じてお手伝いすることをお誓い申し上げます。(着工式典でのあいさつ要旨)



西松建設の技術研究所東京オフィスから遠隔操作するショベルカーがくす玉を開披

祝 鳥海ダム本体工事着工



完成予想図

河床砂礫を堤体材料に掘削量は約400万³m³

施工を担当する西松・奥村・フジタJVは、細心の計画と技術で工事を進めている。堤体の基礎となる岩盤まで河床高から約40³m掘り下げるため、工事中の水管理には万全を期している。現在、深井戸を掘り、真空管を挿入して湧き上がる地下水を強制的に吸引する試験を実施中で、地下水の状況を常に把握しながら工事を進めている。掘削時に発生する河床砂礫は分級機でふるい分け、80³m以下の材料をCSG材、それ以上をコンクリート用骨材として利用する。分級したCSG材は、1次ストックヤードに仮置き。ヤードは広い平坦地形でストックしやすく、大雨の際にも冠水しない貯水池内の上流域に配置されている。使用段階が近づくと、薄層曝気ヤードに移動し、最大打設量2³3日分を薄く広げてストックし、水分を極力低下させ含水比を調整。さらに2次ストックヤードに打設1回分のCSG材を移動し、CSGプラントに供給する。CSGの製造には、西松建設がCSG専用に開発したCRT (Continuous Rotary Tube) ミキサーを使用している。従来のパッチミ

キサーよりコンパクトながら同等の製造管理が可能で、連続的かつ高品質に材料を混合できるCSG専用の混合設備だ。河床部の掘削量は約400万立方³mに及ぶため、濁水処理を徹底する。500立方³m/秒級の大型濁水処理設備に加え、非常時に備えて1万6000立方³mを貯水できる沈砂池も設置する。堤体打設は仮設備ヤードで製造したCSGをブルドーザで敷き均し、振動ローラで転圧。打設1回の高さは75³mを計画しており、基礎岩盤からCSGを積み上げ、計画された河床高まで埋め戻す。原石山が不要なため、自然の改変を最小限に留めることができ、環境に優しい建設計画となっている。建設地は鳥海山の麓で、上流付近には国定公園に指定されている「法体の滝(ほったいのたき)」があり、自然景観を損なわないよう粉塵対策や騒音対策に努めている。

また6月には、ダムサイト近くのダム展望所内に「鳥海ダム情報発信施設」を西松JVが設置。由利本荘市のキャラクター「ゆりぼん娘」を使用し、ダム工事や地区の歴史などを学べるスポットとなっており、地域との交流を深める施設となっている。

諸元

ダム形式／台形CSGダム
堤高／81m
堤頂長／380.4m
堤体積／約143万8,000³m³
湛水面積／3.1²km²
総貯水容量／約4,680万³m³
事業費／約1,990億円

鳥海ダム本体建設工事 西松・奥村・フジタ特定建設工事共同企業体

まかせられる人が、いる。



西松建設

北日本支社 執行役員支社長 鷹野 文英
〒980-6090 仙台市青葉区中央四丁目6番1号
TEL. 022(261)8161(代)

人と自然を、技術でむすぶ。



東北支店

執行役員支店長 野崎 文隆

仙台市青葉区中央二丁目11-18 TEL.050(3495)2020(代)

FUJITA

Daiwa House Group

株式会社フジタ 東北支店

執行役員支店長 瀧浦 猛朗

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-7-33 仙台宮城野ビル TEL.022(794)8550

郷土の安全と暮らしの安心を守る



鉄入れする沢田健鳥海ダム工事事務所長(右)、細川雅一西松建設社長(右から4番目)、奥村太加典奥村組社長(3番目)、吉田篤史フジタ土木本部長(2番目)ら